

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	iラーニングプロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	飯綱町 (企画課) (026-253-2512)
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,046,000 円 (うち支援金 : 1,636,000 円)

#### 事業内容

「飯綱町からの旅 (飯綱町観光ガイドブック)」及び小中学生でも親しみやすい「まんが飯綱今昔物語」の単行本を作成する。

そのガイドブック等を、住民等向けには飯綱町の歴史や観光名所などを総合的に学ぶ学習会 (iラーニング) でのテキストとして活用して、飯綱町の魅力 (歴史、文化、伝統、自然等) を再発見してもらう。小中学生向けにはふるさとを大切にする心を育むため、授業での教材として活用してもらう。

また、飯綱観光サポーターなどの人材の育成を図る。さらには郷土愛の醸成により若者の定住を促進し、飯綱町の関係人口の増加や移住定住につなげる。



【小学生の授業の様子】  
(赤塩焼をまんがで学ぶ)

#### 【目標・ねらい】

- ①飯綱町への郷土愛の醸成
- ②飯綱町の魅力を発信
- ③おもてなし力の向上
- ④人口流出の抑制

#### 事業効果

「まんが飯綱今昔物語」の単行本を町内の小中学校及び高校に配布し、授業で学習教材として活用することにより、地域学習がよりわかりやすく印象深いものとなった。

ガイドブックや単行本を活用した住民向けのiラーニング (学習会) により、町の魅力をより深く知ることができたとの声が多数聞かれ、「おもてなし力」の向上にもつながった。また、新聞等や広報紙で紹介したことにより県内外へ広く町の魅力を発信することができた。

飯綱観光サポーターの人材育成に向けた関心が高まった。

※自己評価 【 B 】

【理由】  
ガイドブック等は、学校での学習教材としての活用したほか、コロナ禍の中ではあったが、iラーニングは約200人が受講。改めて町の魅力を深く知ることができ、ふるさとへの愛着をもち、町の魅力の発信につながった。

#### 今後の取り組み

「飯綱町からの旅 (飯綱町観光ガイドブック)」については、毎年見直しを行いながら常に情勢に応じた内容となるようにブラッシュアップさせていく。

iラーニングを継続し、飯綱観光サポーターが、観光拠点等 (観光案内所、直売所、民泊農家、ペンション等) で観光客や民泊利用者等に町の魅力を発信することにより、飯綱町との関係人口の増加、将来的にはI・Jターンなど県内外からの移住定住につなげる。

また、学校や地域の学習会での学習教材としても積極的に活用することで、地域への愛着の醸成につなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野地域スポーツ振興事業
事業主体 (連絡先)	長野広域連合 (026-213-5100)
事業区分	③ 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,664,100円 (うち支援金: 1,577,000円)

#### 事業内容

スポーツを通じた長野地域全体のスポーツの振興及びチームの応援等を通じて、地域の一体感の醸成を図るため、長野地域内のプロスポーツ選手等との交流事業を実施した。

また、公式戦に併せてジャーナリズム体験を行い特別新聞を作成した。



#### 事業効果

プロスポーツ選手等が長野地域内の学校等のグラウンドや体育館を訪問してスポーツ交流を行う「出張スポーツ交流」を実施した。この事業に参加した園児・児童・生徒等を含め、長野地域の親子が公式戦会場で特別新聞記者となるジャーナリズム体験を行った。合わせて公式戦の応援(サッカー、バスケットボール、バレーボール、フットサル、各1回)を実施した。

ジャーナリズム体験への参加者数は延べ82名で、特別新聞を作成することにより、チームや選手を始め、スポーツへの関心が高まった。また公式戦会場に訪れることにより、地域活性化の促進にもつながった。

全体として、子ども達の体力向上・健康増進・情操の育成が図れ、また、長野地域のスポーツチームの認知度や興味度の向上も図れた。

- 【目標・ねらい】**
- 長野地域内のスポーツ振興
  - スポーツを通じて地域の一体感の醸成を図る
  - 子ども達の体力向上、健康増進、情操の育成を図る

**※自己評価【B】**

プロスポーツ選手等との交流や公式戦でのジャーナリズム体験により、スポーツへの関心が高まるとともに、地元チームへの愛着心の向上から地域の一体感の醸成が図られた。

#### 今後の取り組み

長野地域スポーツ振興事業の「出張スポーツ交流」については、当広域連合が毎年行っている事業のため、継続して実施する。今年度、支援金の対象となったジャーナリズム体験事業については、次年度以降もチームや信濃毎日新聞社において、その取り組みを活かしていきたい。

また、今後も長野地域の市町村と十分な連携をとりながら事業を実施し、スポーツを通じた地域の一体感の醸成を図りながら、長野地域を盛り上げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スポーツ競技力向上と底辺拡大事業
事業主体 (連絡先)	公益財団法人長野市スポーツ協会 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	848,323円 (うち支援金: 535,000円)

#### 事業内容

スポーツを軸としたまちづくりの推進、市民の健康増進やスポーツ競技力向上に向け、選手や指導者の育成を目的に講演会を実施

- ・実施日：令和2年10月29日(木)
- ・会場：長野市芸術館 アクトスペース
- ・出席者：100名(コロナウィルス感染拡大防止のため、入場者を100名に制限)
- ・テーマ：夢に向かって！～水泳から学んだもの～
- ・講師：寺川 綾氏(ロンドン五輪メダリスト)
- ・開催内容：講演60分、質疑応答30分
- ・告知方法：告知用チラシ1,000部、ホームページ等
- ・その他：出席者に対し、アンケート調査を実施

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①指導者のモチベーションが向上したことにより、これまでに増して各競技団体が主体となり、市民が参加しやすい教室やイベントを企画運営する意識づくりのきっかけとなった。
- ②スポーツの素晴らしさを再認識したことで、生涯スポーツ、スポーツ競技力の向上など市民のスポーツに対する関心が高まった。
- ③実績のある講師から話を聞くことで、それぞれがかかえる課題解決に向けた具体的な考え方や取組方法、一流アスリートが備える人間性、努力した結果、目標設定など参考になった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

スポーツは、体を動かすことによる健康増進、新たな活動エリアの発見など元気な人づくり、元気な地域づくりに大きな役割を持つ。

運動を行うには、指導者の確保が必須であり、指導者を育成することでスポーツの素晴らしさや楽しさを伝えスポーツを始めるキッカケづくりに結びつける。また、競技力の向上を図ることでやりがいの醸成を図っていくとともに、生きがいとスポーツを結び付け、明るく元気な人・まちづくりを目指し人材育成に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



(活動写真)

【講演の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①スポーツによる地域振興
- ②スポーツへの関心を高め、市民の健康増進とスポーツ競技力の向上を図る
- ③選手、指導者の育成

#### ※自己評価【A】

#### 【理由】

- ・参加者アンケートにおいて、内容評価が5段階中4～5が98.78%と高評価であった。
- ・スポーツに対する関心、選手や指導者の意識が向上した。

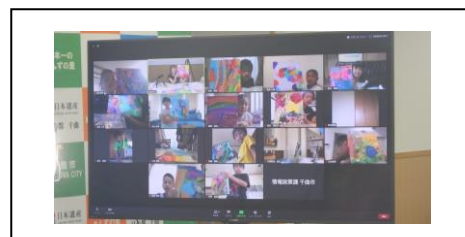
### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	千曲市 子どもたちと創る千曲市循環バスラッピング事業
事業主体 (連絡先)	千曲市 市民環境部 生活安全課 交通政策係 Tel : 026-273-1111
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト、ハード
総事業費	3,148,780 円 (うち支援金 : 2,148,000 円)

#### 事業内容

地域の文化芸術活動及び生涯学習の促進を図るため、老朽化したコミュニティバスの更新計画に合わせ、未来を担う市内児童と芸術家がコラボしデザインを創作し、当該デザインをバスにラッピング施工実施。

- ・オンラインによるデザインワークショップ  
30人×4回=計120人が参加
- ・全体デザインの構成、編集  
10月～11月
- ・ラッピング施工  
12月～1月
- ・完成お披露目会の開催  
1月23日 千曲市役所 駐車場 約400名参加



【ワークショップによるデザイン作成】



【ラッピングバス完成お披露目会の様子】

#### 事業効果

- ① 支援金を活用し、計画申請時には想定外であったコロナ禍にあっても安定した事業推進を図ることができた。  
当初はワークショップによる集合作業を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、リモートによる制作変更を余儀なくされたが、円滑な移行が可能であり、充実した作業推進を図ることができた。
- ② 旧3市町より、多くの児童(親子)に参加頂き、芸術家とのコミュニケーションや絵画に対する取り組み姿勢、考え方を共有体感することができた。
- ③ お披露目会では、参加者から多くの好評を頂き、芸術文化の振興や市営バス事業に対する関心向上に期待が持てた。

#### 【目標・ねらい】

- ① 文化芸術活動の機運向上
- ② 教育、文化活動の発展、振興
- ③ 市営バス事業に対する興味関心の醸成

#### ※自己評価【 B 】

##### 【理由】

- ・「ワークショップによるデザイン作成、監修」工程やお披露目会に対する参加者からの評価
- ・ラッピングデザインによるバス路線認知度の向上

#### 今後の取り組み

当該車両を市内一円循環するバス路線に充当し、多くの市民の目に触れる機会を作り当該ラッピングコンセプトである「走る芸術作品」の提唱機会を確保する。

またこれにより、ラッピング図案作成に参加した親子だけでなく、旧3市町である千曲市民の一体感の醸成にも繋げたい。

さらに当該車両を用い、子どもたちや高齢者を対象とした「バスの乗り方教室」などの各種イベントを開催することでバス利用者の向上だけでなく、文化芸術活動の機運の盛り上がりや活動推進を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歴史的物件保存伝承・地域間交流事業
事業主体 (連絡先)	芋井の歴史を学ぶ会 (長野市大字桜600-49 長野市立芋井公民館内)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード・ソフト事業
総事業費	2,016,900円 (うち支援金: 1,511,000円)

#### 事業内容

- 高札場の保存・伝承
  - ・勉強会(6/27)、学習会(7/15)を開催し、地域住民と児童が地域を学び、高札場を復元しました。
  - ・「旧上ヶ屋高札場の展示」解体された高札場の一部を「芋井郷土資料室」に展示しました。
  - ・「上ヶ屋高札場復元作業の体験」児童と地域住民が柵の塗装を体験しました。
  - ・「コースター作り」児童と地域住民が解体された高札場の一部を使って作りました。
- 高札場を核としたイベント
  - ・松代地区との地域間交流(芋井の名所・名跡巡り)を行いました。



【復元した上ヶ屋高札場】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・当会会員に加え、地域住民と地元の小学校の協力を得てこの事業を行い、歴史を未来につなぐと共に、地域の魅力を再認識することができました。
- ・地元の小学校からは「子どもたちは貴重な体験ができ、社会科の学習にも役立ち、ありがたかった」とのことです。
- ・高札場を設置した松代藩の中心地、松代地区住民と「芋井の名所・名跡巡り」を行い、地域間交流ができました。

#### 【目標・ねらい】

- ① 地域(ふるさと)を学び、地域をより良く
- ② 他地域と交流、互いの魅力発見
- ③ 市街地集積を防ぐ一助に

#### ※自己評価【A】

- 【理由】
- 学ぶ会の会員以外の地域住民への発信ができた。
  - 学校等との連携で次世代へ継承
  - 歴史を通じて地域間交流が充実

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

復元した上ヶ屋高札場と長野市芋井歴史年表を活用して、更に学習を広げ、それぞれの地域(ふるさと)の魅力再発見事業に発展できるよう地域間交流を継続していきたい。

その結果として、自らのふるさとの元気づくりと、市街地への人口集積を少しでも変えていくことができるよう取り組んでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	情報通信技術を活用した地域の生涯学習を支える人材育成事業
事業主体 (連絡先)	長野県図書館協会 (長野市若里1-1-4)
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,401,078円 (うち支援金: 904,000円)

### 事業内容

地域の生涯学習の推進の核となる人材を育成するため、学びの充実と遠隔地でも学べる環境の整備を実施。

- ・研修①「わがまち・わが館・お宝情報発信術」  
9月 91名参加
- ・研修②「映画『パブリック図書館の奇跡』座談会」  
10月 42名参加
- ・研修③「地図から読み解き、編み直す地域情報」  
12月 57名参加
- ・研修④「『未来へ災害情報をつなぐために』図書館ができることを考える」 2月 36名参加
- ・環境整備 WEB会議システムを購入し塩尻市立図書館に貸出。研修会場が拡充され参加方法も多様化。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①支援金を活用して研修会を4回開催でき、地域・災害に関する学びの場を提供することができた。
- ②WEB会議システムの導入とともに ZOOM ライセンスの購入により、長野市と塩尻市の2会場で研修会に参加することが可能になった。
- ③個人がオンラインで参加できるようになり、多くの方にこの方法を体験してもらうことができた。また、図書館はじめ社会教育施設関係者に対しては、今後 ICT 活用の必要性を改めて認識していただくことができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

災害を通じて地域を学ぶことを計画したが、コロナ禍により実施時期や内容の変更を余儀なくされた。今後は引き続き、災害・地域・デジタルをキーワードにしつつ、研修会においてはフィールドワークを取り入れるなど、地域の方々がより参加しやすくなるよう工夫し学びの裾野を広げたい。

また、オンラインと比べて実際に集合する研修・催しのメリットも大きいので、参加者の利便性も考慮し県下各ブロックに学びの拠点を設けていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【研修の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①学びの場の提供
- ②遠隔地でも学べる環境の整備
- ③オンラインを活用した研修体験の提供

### ※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

- ・当初計画からは時期・内容の変更が生じたが、概ね目標どおり実施することができた。
- ・オンライン研修参加者R元年度実績なし→226人

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本一の門前町大縁日
事業主体 (連絡先)	長野市 (文化スポーツ振興部文化芸術課 224-7504)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	7,729,292 円 (支援金 : 4,884,000 円)

#### 事業内容

善光寺御開帳期間中、市民参加による文化芸術プログラムを中心に、他のイベントとも連携しながら、災害復興の一助となるよう、にぎわいの創出を図る。

- 日時：令和4年4月2日～5月29日  
令和2年、3年プレイベント実施
- 場所：セントラルスクウェア、善光寺表参道  
TOiGO広場、長野駅前広場 など
- 内容：令和2年度実施事業
  - ・善光寺アートフェス ・街角アート展
  - ・復興光アート ・ながの高校生バンドコンテスト
  - ・法被の製作



善光寺アートフェス



街角アート展

【目標・ねらい】  
①にぎわいづくり ②市民参加

#### 事業効果

- ◆善光寺アートフェス  
出演3団体73名、来場者309名
- ◆街角アート展  
出品者12名、来場者2,691名
- ◆街角アート展 復興光アート  
展示期間 R2.11.7～R3.2.28、114日間
- ◆ながの高校生バンドコンテスト  
参加7グループ30名、ゲスト2組、来場者20名
- ◆法被の製作  
440着、イベント使用7日間



高校生バンドコンテスト

#### 今後の取り組み

1年延期となった善光寺御開帳に向け、今年度予定していた事業や新たな事業を実施し、市民参加の機運を高める。また、大縁日本番に向け、関係者と連携を図りながら、会場準備、プログラム作成を進めていく。

※自己評価【B】

【理由】  
新型コロナの影響で、善光寺御開帳が1年延期となり、大縁日も大幅な事業見直しを余儀なくされた。その中でもコロナ対策を図りながら、事業を実施することで、市民参加の機運を高めることができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	須坂☆キッズシアタープロジェクト
事業主体 (連絡先)	ドリーム・コンシェル 050-3786-2978 理事長 杉本文江
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,732,910円 (うち支援金:2,181,000円)

## 事業内容

【稽古日】令和2年11月1日～令和2年12月16日  
(計12回)

【上演日】令和2年12月20日 A 11:30～13:30  
B 15:30～16:30

【演目】小学生が演じる Straight Tiger 直虎 後編

【場所】メセナ小ホール

## 【事業内容】

健全な子どもの育成と長野県の歴史・文化の伝承に貢献を目的とした演劇体験ワークショップを実施した。

本年度は、1月に前編を行った須坂藩13代藩主堀直虎公を演題した発表会の後編を、小学生だけで演じる(中学生が協力)舞台を上演した。

出演者…25名(中学生7名)観客動員数…200名。多くの方にこのプロジェクトの効果と地域の偉人について知る機会となった。

これからも直虎公の舞台を子供たちの表現力アップと地域の歴史や文化の発展のために継続事業としていきたい。

## 事業効果

- ① 出演者は地元須坂市、高山村、長野市、小布施町、中野市の小学生の2年生から6年生が参加した(25名)そして中学生(7名)が参加協力してくれた
- ② 須坂市の紙芝居の会や地域の歴史や文化の伝承活動家の方々の多大なる協力をいただけ、地域の継続イベントにしてほしいとの声をたくさんいただいた
- ③ 初心者10名、経験者15名であったが、中学生がダンスを教えるなど稽古は常に楽しく、回を重ねるごとにチームが一つになっていった。本番は大成功。(アンケート138枚)子供の舞台でこんなに感動するとは思わなかった等、観客からも継続を望む声をいただいた
- ④ 演劇のプロから指導を受ける演劇体験ワークショップが子どもの可能性を引き出していくすばらしさを実感した。次年度は後編に描かれなかったところ実施予定。告知活動の強化と地域も協力団体を増やしていく。

## 【発表会の様子】



## 【目標・ねらい】

- ① 子どもたちの知恵と想像力と身体性を養うと共に、地元を愛する心とコミュニケーション能力向上を目指す。
- ② 地元の活動家と共に発表会を実施することによって、世代を超えた人間関係作りと、自己評価の向上の糸口とする。
- ③ 発表会を通じて親や多くの一般の方々に観劇いただくことで、地元愛を養い伝承活動へとつなげていく。

※自己評価【 B 】

## 【理由】

- ・①～③すべて良い結果ではあったが、コロナの影響で参加者や観客動員数が目標に達しなかったこと。



## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州くだもの歴史のまち 川中島平ウォーク
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人MHOKエムホック 長野市青木島4-4-5 青木島ショッピングパーク内3F
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	665,000円 (うち支援金: 467,000円)

### 事業内容

信州くだもの歴史のまち 川中島平ウォークを開催しました。(8:30~12:00)

参加費; 一般1,500円

中学生と75歳以上500円 小学生以下無料

①「丹波嶋宿史跡めぐり」9月27日(日) 丹波島「青波公園」を出発、帰着として丹波島橋-旧本陣等の丹波嶋宿-於佐加神社-丹生寺等の約6.5Km 参加者40名の他スタッフ等19名。

②「典厩・勘助史跡めぐり」11月1日(日) 小島田町「川中島古戦場史跡公園」を出発、帰着として典厩寺-大鋒寺-山本勘助の墓-願気神社等の約7Km 参加者48名の他スタッフ等18名。

③「謙信・信玄の史跡めぐり」3月28日に稲里、青木島町コース 約7Kmを計画したが、コロナウィルス感染警報が4の特別警報Iレベルとなったため一旦中止とし、次年度開催で計画中。

### 事業効果

①実質初年度のコロナ禍開催では、小規模の7km以下コースのみの2回であったが、合計88名の参加各年代層より川中島平における特色あるウォーキングの体験に好評をいただきました。

②地元の史跡めぐりガイドに加え、イベントとしての於佐加神社における「更北語りべの会」による「紙芝居」が親子参加者に好評だったこと、また川中島古戦場史跡公園会場における「更北さわやかアンサンブル」の演奏と歌声の披露も出発式に華を添え楽しめていただけたことも普及への一歩と捉えています。

③支援金は計画的な大会規模拡大を図るため、主に大会運営機材の導入に当てました。

先導、解説員用手ぶら拡声器、コース案内標識看板、テント、机、椅子、備品保管物置等を調達しました。基本アイテムは揃いましたので今後の発展計画に合わせ拡充させたい。

### 今後の取り組み

現在はコロナ感染の対策中であり、ワクチン摂取等の進捗や感染の落ち着き等の情報を監視しながら、春の小規模開催時期と秋10月末に健脚向け18Kmコースを加えた150名規模の大会を計画中である。安心、安全をベースに、経験した反省点を改善し、多くの皆さんに楽しんで参加いただけるようアイデアを凝らし、全県的な活動への発展に向けウォーキングの普及拡大を図ります。



【千曲川堤防道路を歩く】

### 【目標・ねらい】

①子どもたちから高齢者まで、体力づくりや健康増進に向けたウォーキングの普及。

②地元の歴史や文化にふれ、楽しみながら探索することで、将来子どもたちに定住、活躍できる故郷愛を育てていきたい。

③大会の規模、エリアの計画的拡大を図り、全県的な活動と長野県を健康長寿日本一のリーダーとなることを目指したい。

### ※自己評価 【A】

#### 【理由】

・コロナ禍にあり当初計画は30名小規模3回であったが多くの応募を受け、アンケート結果でも「景色とともに歴史を学ぶことができ感動した」との多くの声や、次回も参加したいとのリピート者が40%を超えていたこと。

・参加者の層も厚く、親子の他 65歳以上ご夫婦の多さと、ちなみに最高齢は男性95歳、女性80歳でした。お元気に完歩されました。

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小布施北斎ホールシアター2020
事業主体 (連絡先)	小布施町文化事業活性化実行委員会 会長 渡辺章宏
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,694,097円 (うち支援金: 2,717,000円)

### 事業内容

【上演日】 令和2年10月17日 A公演 16時～19時  
令和2年10月18日 B公演 11時～14時  
C公演 16時～19時

【場所】 小布施町北斎ホール

【演目】 小布施北斎ホールシアター2020

水の甕 ～おねの育てた正則～

私達小布施町文化事業活性化実行委員会は、北信地方の方々に芸術に触れ楽しむ風土を創りたいと考え、小布施町に縁の深い福島正則公を演題として、住民参加型の舞台を上演した。

出演者 58名 (小学生・中学生17名を含む)

観客動員数 500名



【上演の様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 出演者・観客・運営者の全員で一体感を味わえる
- ② 地元の歴史を知り地元愛を育む
- ③ 世代を超えた交流の場
- ④ 台風19号で被災した方々に元気を与える

### 事業効果

- ① 稽古でも検温・消毒液・マスク等による最新の注意を払い、苦しい中でも感染者を出さず皆よく頑張ってくれた。本番では、受付から完璧なまでの対策を講じ、出演者はフェースシールドの着用により苦しかったはずだが苦言も出ず、スタッフ・出演者共に非常にまとまったワンチームであった。
- ② コロナ禍という過去に経験のない状況での上演であり、「一人でも関係者から感染者が出たら中止」と決めていたが、最後まで気が抜けず実行委員会の渡辺会長始め、出演者・関係者の苦慮は相当なものであった。その分、終了したときは言葉では言い表せない程の達成感と安堵感を感じた。
- ③ コロナ禍での観劇は大変だったと思うが、それをも超えて足を運んでいただいたことに感謝したい。客席と舞台が近いということもあり今までと違った臨場感と一体感があったと思う。そのため、涙を流されていた観客も多く見受けられ、出演者にとってはこの上ない“出演者冥利”を感じたと大勢から聞くことができた。
- ④ 公演終了後の小布施町議会で「コロナ禍での上演で、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれ、更に一人の感染者も出さず、実行委員会には敬意を表したい。そして、町内に勇気と元気を与えてくれた」と賛辞をいただいたと報告を受けた。コロナ禍でも細心の注意を払うとできるんだという自信も付き、来年以降への勇気が沸いた。これを定期的に行うことで他の模範となり、更なる存在感を確立できると信じている。

### ※自己評価【A】

コロナ禍での事業実施となり、稽古から上演まで感染症対策は大変であったが、1人の感染者も出すことなく実施できた。感染症対策として観客数は当初予定の半分の500名となってしまったが、北斎ホールでの公演は昨年までの屋外での公演以上に臨場感と一体感を味わえ、多くの観客から高評価をいただき、来年以降への勇気が湧いた。公演を定期的に行うことでさらなる存在感を確立し、小布施町が観衆の集まる聖地として“元気”を届ける役割を担っていきたい。

## 今後の取り組み

今年の利用者は、入場者数を半分にすることで500名となったが、昨年と比べリピーター率が高くなった。地元の観客も多くなり、また同じ舞台を観たいとの声も多かったことから、演劇の楽しさが広まりつつあることは確かである。

当初は「大鹿歌舞伎」のような地元住民で構成される劇のイメージも持っていたが、参加者のリピーター率が高いことを思うと、この舞台は地元住民だけで創っていくのではなく舞台を愛する人が大切に育てていくものだと思うようになった。岩松院の住職を始め、役場職員も出演いただいたことで、“来年は出演したい”という声を地元から聞く機会も増えている。

今後の取り組みとしては、エバーグリーンさんとのコラボが実現できるよう共に考えていく。全国的には、正則公の生誕の地(愛知県)と、鹿児島県の島津家とを絡めた劇も考えてみたい。そして、小布施町を従来からの観光地として更なる飛躍のきっかけを、劇を通じて考えていきたい。

今年の台風の水害、そして今年お猛威を振るうコロナ禍において、小布施町内が観客の集まりで賑わう聖地として“元気”を届ける役目も担いながら、継続事業として進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伝統芸能こどもフェスティバル
事業主体 (連絡先)	伝統芸能こどもフェスティバル実行委員会 (文化スポーツ振興部文化芸術課 224-7504)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,945,922 円 (支援金 : 2,946,000 円)

#### 事業内容

後継者不足に悩む中、伝統芸能をイベントとして開催することで、子どもたちの参加を促進し、伝統芸能の継承を進める。

- 日時：令和2年10月24日、25日
- 会場：長野市芸術館
- 内容：こどもたちによる伝統芸能のステージ発表  
こどもたちへの伝統芸能の体験・指導  
合同ステージ発表と事前練習
- 実行委員会・全体会議：1/21、6/9、8/27、11/18  
事業内容検討、プログラム作り



事前練習

#### 【目標・ねらい】

- ①次世代への伝統芸能の継承
- ②ジャンルを超えた団体交流
- ③地域の活性化



合同ステージ発表

#### 事業効果

- ◆出演団体 18 団体, 372 名  
うち合同ステージ発表 51 名 (伝統芸能初体験)
- ◆来場者 1,300 名
- ◆出演者アンケート
- 総合的に満足・やや満足 90.9% (前年比+17.6)
- 主な意見
  - ・伝統芸能を継承していくことの重要性を感じた
  - ・フェスティバル継続のため参加・協力する
  - ・子どもたちと触れ合うことに幸せを感じる
  - ・他市邦楽関係者がモデルにしたいと言っていた



体験ブース

#### 今後の取り組み

2回目であったが、51名のこどもたちが伝統芸能に初めて参加し、所期の目的を達した。  
一方、参加団体からのアイデアを全て受け入れたため、参加者自身が非常に多忙なプログラムとなった。今回参加した団体を中心に実行委員会として継続した実施を目指す。

<b>※自己評価【A】</b>
<b>【理由】</b> 新型コロナの影響もあり、来場者数は昨年より減少したが、参加団体からは昨年よりも満足の声が聴かれ、市民主体となった今後の発展に大いに期待ができる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある